

横浜港港湾計画改訂の取組状況について

次期改訂は、目標年次を平成30年代後半とし、その計画内容について、横浜市民、港湾関係者、学識経験者、関係行政機関及び本市関係部局で構成する「横浜港港湾計画検討部会」を設置し検討を進めております。

1 取組状況

(1) 横浜港港湾計画検討部会（部会長；鬼頭平三氏（社団法人日本港湾協会理事長））

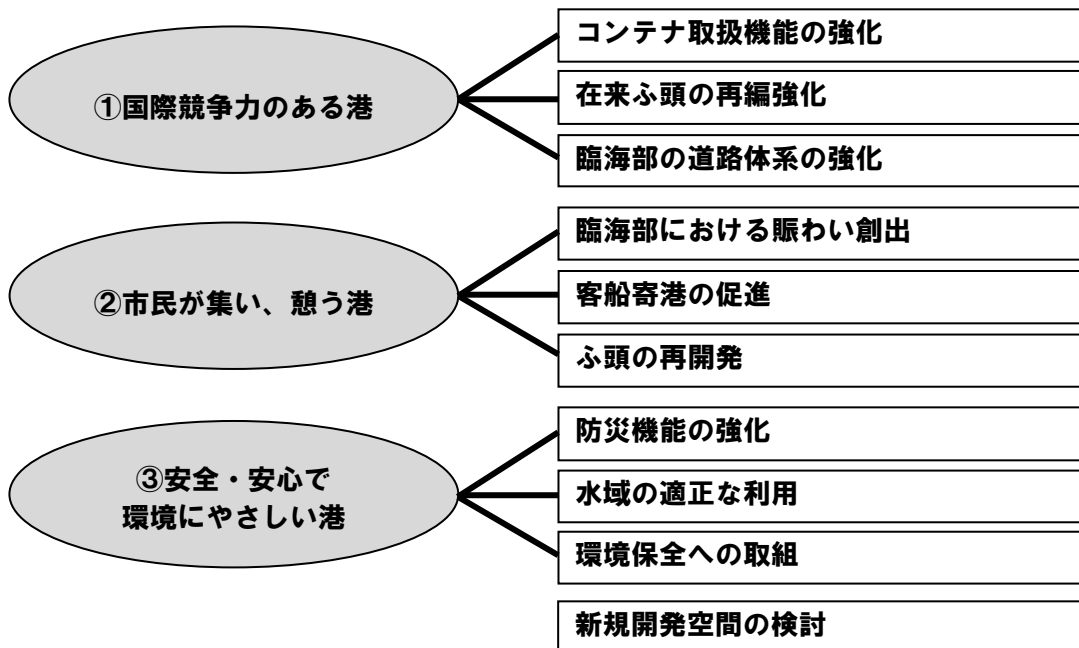
平成24年10月26日に検討部会及びワーキンググループ（WG）の合同による第1回横浜港港湾計画検討部会を開催しました。

・検討内容

第1回検討部会では、横浜港の現状と課題について議論し、横浜港の役割である

1. 国際競争力のある港
2. 市民が集い憩う港
3. 安全・安心で環境にやさしい港

に基づき、以下の10項目について検討を進めていくこととしました。



【主な意見】

- ・国際競争力の強化については、多様な貨物への質の高い対応が必要である。
- ・観光や交流に関しては、水上交通なども含め広域に検討するとともに、スピード感をもって対応すべきである。
- ・再開発に当たっては、物流機能との共存について慎重な検討が必要である。
- ・船会社や荷主から選ばれる港になるためには地球温暖化対策への取組が欠かせない。
- ・市民と港の距離をいかに縮めるかという観点を常に持ちながら議論を進めるとよい。

(2) 港湾施設視察会

第1回検討部会後の12月10日に、横浜港の現状について理解を深めていただくため、港湾施設視察会を実施しました。

2 今後の予定

第2回検討部会を25年3月頃を開催し、計画フレームや個別計画などについてご議論いただく予定です。引き続き検討部会やパブリックコメントを行った上で原案を作成し、その後改訂の手続きを進めます。

		港湾審議会	港湾計画検討体制（検討部会・WG等）	環境影響評価
24年度	9月			環境影響評価
	10月		10月26日 第1回 検討部会 #1WG	
	11月	11月15日 横浜市港湾審議会（報告）		
	12月		12月10日 港湾施設視察会 #2WG	
	1月			
	2月			
	3月		第2回 検討部会 #3WG	
25年度	4月			
	5月			
	6月			
	7月		第3回 検討部会（素案の検討） #4WG	
	8月	横浜市港湾審議会（報告）		
	9月		広報・PR パブリックコメント	
	10月			
	11月	横浜市港湾審議会（報告）	第4回 検討部会（原案の検討） #5WG	
	12月			
	1月		原案作成	
2月				
3月～	横浜市港湾審議会（諮問） 交通政策審議会港湾分科会			